

トレッサ横浜防災フェアにて広報活動



試着して車と記念撮影

来場者からは「災害時の自衛隊との関わりをイメージできた」「身近で自衛隊を感じられた」「入隊のコースがこんなにあるとは知らなかった」といった感想が聞かれた。横浜出張所は「今後も地域に密着したイベントに積極的に参加し、防衛基盤の拡充と募集環境の醸成に努めていきたい」としている。

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 田中3陸佐）は、10月23日（土）及び24日（日）大型ショッピングモール「トレッサ横浜」（横浜市港北区）における「トレッサ横浜防災フェア」において自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行った。本企画は、株式会社トヨタオートモールから依頼を受け、出展したものである。

当日は天候にも恵まれ多くの市民の方が来場した。広報ブースでは車両等の装備品展示として、高機動車と11/2t救急車を展示したほか、迷彩服等の試着を行い地域住民との交流を図った。身近に駐屯地等が無い市民らにとっては初めての自衛隊の装備品に驚きと感動の声が上がっていた。また、災害派遣活動パネル展示では、近年の災害派遣増加も相まって、自衛隊の活動に対する感謝と慰労の言葉をたくさん頂いた。



募集ブースも盛況

念願の空自武山分屯基地見学が実現

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 内山2空尉）は、10月29日（金）、航空自衛隊への入隊を待ち望んでいる試験合格者の2名を航空自衛隊第1高射群第2高射隊の見学会に招待した。

神奈川県横須賀市に所在する武山分屯基地は、神奈川県で唯一の航空自衛隊の基地であり、ペトリオット部隊として首都圏防空の一翼を担っている。この第2高射隊の見学会は、当初8月に予定されていたが、緊急事態宣言延長により延期となっており、緊急事態宣言が解除されたことに伴い、念願の見学が実現することとなった。

見学会に参加した2名は、初めに高射隊について概要説明を受けた。全国に点在する基地の場所や役割を聞いたり、保有装備品について説明を受けたりし、紹介されるスライドを見ながら、熱心に説明に聞き入っていた。その後、基地で保有しているペトリオットや軽装甲機動車等の装備品を見学した。各装備品については、隊員から丁寧な説明があり、高射隊の任務についての理解を深める時間となった。初めて見る装備品の数々に参加者からは「間近で見られてテンション上がりです」「かっこいいですね。乗ってみたい」との言葉が聞かれた。

また、今年入隊した1等空士隊員との懇談時間が設けられ、参加者から多くの質問が飛びかい、航空自衛隊への関心の高さを感じることができた。

見学後には「実際の仕事内容について理解を深めることができました」や「航空自衛隊の魅力を感じることができました。」等の嬉しい感想があった。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も試験合格者たちを基地見学等に積極的に招待する機会を設け、自衛隊への理解を深めていく。そして、一人でも多く入隊につながるようにフォローしていきたい」としている。

